

2017 ティータイム通信



発行/
建設許可(般-27)16806号
(財)住宅保証機構登録店
人にやさしい家づくり

株式 みのりホーム
松山市福音寺町42番地6
Tel 089-976-0047
[HP] [みのりホーム](#) 検索
[E-mail] minor@minor-group.com

一級建築士事務所 第3021号
日本増改築産業協会 正会員

株式 栗田工務店
松山市福音寺町40番地1
Tel 089-993-7555
[HP] [栗田工務店](#) 検索
[E-mail] kurita39@lilac.ocn.ne.jp



謹賀新年 謹んで新年のお慶びと 皆様方の御多幸を お祈り申し上げます。

みのりグループ 会長 寺川 勲雄

謹んで新年のお慶びと皆様方の御多幸をお祈り申し上げます。昨年みのりグループは新しい飛躍に向けて大きく動きました。みのり商会・ホームの本社ビルを撤去し、セブンイレブンの旗艦店を受け入れる為に新しく建物を建築、その2階には栗田工務店の入居、やわらぎも本社を移転、みのり商会・ホームは所有する元伊予銀行支店へ改装が終わり入居しました。併せて、やわらぎはグループの隣接地に5階建マンションを取得し、年末から改装に着手しております。新年を迎えてグループ各社がそれぞれにその使命をよく再認識し、御客様にどうお役に立てるかをモットーにこの一年を新たな気持ちで頑張る所存です。創業以来37年間地域の皆様の御支援を受けながら、今日まで歩んでこれた事に厚く感謝の気持ちを込めて御礼申し上げます。グループ各社、それぞれ若い人材が育ちつつあり、社訓 会社は人生道場である 深い人間性 高い生産性 社会貢献 を忘れる事なく、社会正義を實踐して行くものと確信しております。本年も相変わりませず御指導 御鞭撻を賜りますと共に、お気づきの点が御座いましたら厳しく御叱責を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社 みのり商会 代表取締役 寺川 信一
株式会社 みのりホーム

謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年は事務所の移転など弊社グループとして動きのある年となりました。事務所の場所が落ち着き、この場所から地域に発信できることに改めて思いをめぐらせております。全国的な家づくりの流れとして『耐震』『省エネルギー』がより重要視されるようになりました。私たちが提案させていただいている無添加住宅は長くお住まいいただける建物として標準仕様で耐震等級2、次世代省エネ基準を十分に上回っていますが、『居心地の良さ』を大切に考えています。性能値で表せなくても好きな居場所、心休まる空間をご提供できますよう、今年も励んでまいります。また地域に根差した不動産企業といたしましても賃貸・売買などさまざまな活用方法で幅広くお客様のお役に立てますよう、全社一丸となって取り組んでまいります。

株式会社 栗田工務店 代表取締役 谷本 憲介

明けましておめでとうございます。昨年も、850件を超えるリフォーム工事をさせて頂きました。その多くがリピートご紹介になります。長きに渡り、ご信頼いただいていることを心から感謝申し上げます。昨年は、本店移転と久万ノ台へ出店させて頂きました。本店は隣の移動ですが、久万ノ台出店は、お客様のお声を聞かせて頂き出店を決意しました。あるご年配の单身女性のお客様から「中央通りにあったときは、ちょっとしたことを頼んでいたけど、福音寺町の遠くからきてもらうのが気の毒で...でも、ガラスが割れて、どうしても困って電話してしまいました。」と。小さくても、社会から必要とされる企業。お役に立てる企業。感謝される企業。になりますよう鋭意努力して参ります。どうぞ、これからも皆さまのお声を聞かせて頂ければ幸いです。本年もご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

有限会社 やわらぎ 常務取締役 中山 尚子

新年あけましておめでとうございます。ティータイム通信では「やわらぎ便り」のコーナーで、日々の出来事や職員の現在感じていることなど、様々な角度で書かせていただき、弊社のブログにもコメントをいただくなど、少しずつ有限会社やわらぎを知っていただく機会ともなっており、嬉しく思っております。

昨年は、愛媛労働局よりユースエール認定企業として基準適合事業主に愛媛県第1号として認定していただき、嬉しいニュースのある1年でした。介護業界としては、悲しいニュースも目にし、暗いイメージが付きまとうことありますが、今後も職員の働きやすい環境を目指し、それが利用者様に対してのより良いケアに繋がっていくことを信じ、邁進していきたく思っております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

みのり 知恵袋通信

こちらのコーナーでは毎月、生活に役立つちょっとした小ネタをご紹介します

● 第57弾 「二日酔いには」

飲み会の多いシーズンは二日酔いが辛いですね。そんなときに役立つ情報を教えます！



二日酔いをやわらげる方法

その①「柿が効く」

熟した柿は二日酔いに効き目あり。生で食べてね。



その②「大根おろしも試してみよう」

大根おろしは昔から語り継がれる二日酔いに効く食品です。

その③「お馴染みのしじみ汁」

しじみは肝臓によいアミノ酸がバランスよく含まれているのです。いったん冷凍して使うと、栄養分が増すとが。



その④「蓮根でスッキリ」

蓮根には体を冷やす働きがあり、利尿を促すと言われています。また、含有量が多いビタミンCが肝臓の働きを助けるので、飲食後も勿論、喫煙の方にも蓮根料理はおすすめです。生のレンコンをすりおろして、それを木綿袋で絞り、しぼり汁を盃に1~2杯のむと気分がすっきりします。飲んでる最中に気分が悪くなったときにも、即効性があるとされています。ぜひ試してみてください。



モデルハウス公開終了間近!

平成29年1月15日(日)で公開終了します! お急ぎ下さい~

毎週 土・日・祝 10:00~17:00 開催中



モデルハウスがオープンしてから約2ヶ月半という短い期間でしたが、これまでたくさんの方にご来場頂きました。みなさん誠にありがとうございました。オープン当初は外構が未完成でしたが、今ではステキな外構も完成しております! 天然素材に包まれた空間はまさに癒しの住宅です。一生に一度のマイホームだからこそ妥協せず、素材からこだわっているのは私たちだけではなく、お客様も同じではないでしょうか。

是非、私たちのこだわりを見に来てください。公開終了まであとわずかとなりました。最後にこのモデルハウスをもう一度見たい方、まだ見ていない方、ラストチャンスです! 是非この機会にお越しください。

みのりファイランソロピー

毎年恒例となった慈恵会の子どもたちとの焼き肉パーティーを開催しました。年に1度だけの焼き肉パーティーで今年で9年目を迎え、顔見知りの子も増えました。元気な子どもたちとの楽しいひと時は逆に元気をもらっているような感じでした。また来年もきっとサンタ



知っ得! 不動産 印紙税の軽減

平成26年4月1日から平成30年3月31日までの間に作成される、契約書について印紙税の税率が軽減されるのはご存知でしょうか。土地建物売買契約書などの不動産の譲渡に関する契約書のうち、契約書に記載された契約金額が10万円を超えるものなど、不動産の譲渡に関する契約と第1号に掲げる他の契約が併記された契約書も軽減措置の対象となります。

1000万円を超え5000万円以下の印紙税は1万円から1万5千円に上がります。

軽減後の税額は、いずれも契約書に記載された契約金額により次のとおりとなります。軽減がなくなった場合、

記載された契約金額	税額
1万円以上50万円以下のもの	200円
50万円を超え100万円以下のもの	500円
100万円を超え500万円以下のもの	1千円
500万円を超え1,000万円以下のもの	5千円
1,000万円を超え5,000万円以下のもの	1万円
5,000万円を超え1億円以下のもの	3万円

やわらぎ便り

— 本当の収穫 —

“食欲の秋”と申しますが、やわらぎ川内では寒くなる頃、様々な秋の味覚を楽しむ事が出来ます。今年も11月半ばには、他の事業所のお年寄りを招待し、“芋掘り大会”を開催しました。昔とった杵柄で、イキイキと鎌を持つ方、また、「どんなのが出てくるかな?」と、ワクワクしながら掘る方、中には芋掘りを横目に、石鎚山を望みながら自然を満喫する方もおり、参加者それぞれが、個々の楽しみ方で、有意義な芋掘りを堪能されました。また、11月後半には、“紅マドンナ”の収穫に出かけました。去年はスタートという事もあり、実が熟す前に落ちてしまったり、収穫時期を逃してしまいましたが、今年は、甘くて、とても美味しい実がたわわに実り、紅マドンナの豪華なミカン狩りを楽しむ事が出来ました。12月に入ると庭にある渋柿の収穫をしました。今年は裏年で実の数はかなり少なかったのですが、大きく立派な柿が実り、柿をもいだ後、皆で皮を剥き、来年のお正月用として軒下に吊るし、干し柿にしました。毎年こうして収穫を楽しめるのも、下準備をして下さっている方々に感謝するのは勿論ですが、同行する職員達の陰に隠れた涙ぐましい努力の賜物とも言えます。というのも、中には収穫中に、芋を生

グループホーム川内
竹崎 さなえ

まま口にしようとする方、渋柿をそのままかじってしまう方、その場におれず徘徊する方等、不穏になる方がいるのも現状です。その都度職員達は、「どうか事故なく無事収穫できますように」と、参加されたお年寄り一人一人の行動を把握しながら、安全で楽しく収穫ができるよう、全身全霊支援しているのです。こういった収穫時に見せる、お年寄りの満面の笑顔、おどけた表情、また、畑を飛び交う喜びの言霊の数々は、決して日常で拝見出来るものではありません。大変だからこそ、素敵な笑顔に触れ、何事もなく無事に終えた時、職員にとって、かけがえのない喜びや、達成感と言う収穫が得られ、また次頑張ろうと思えるのではないのでしょうか。今年も大地の恵みに感謝しながら、秋の味覚を存分にいただきます!



ホームページ <http://www.yawaragi-ehime.com/>

現場からの便り

～左官職人の技～

松山市高井町で建築中のK様邸。2月のお引渡しに向けて、順調に工事が進んでおります。現在は左官さんの漆喰塗り工事中です。無添加住宅はほとんどの壁が塗り壁です。本物の素材と、左官さんの手仕事により、風格を増した建物になっていきます。



～S様邸の地鎮祭～

松山市で建築されるS様邸の地鎮祭を執り行いました。安全に家作りが出来るよう、神様に祈りました。S様とはいくつもの打ち合わせを重ねる中で楽しい雑談もあり、いつも元気を頂いています。これからいよいよ着工です! S様ご家族のためにも、こだわりのつまった素敵な家を作りたいと思います。



無添加大好き!
私の住まい

もともと土壁の家に永く住んでおられたT様。日本の伝統家屋の良さや気候風土を考えた素材の確かさは肌で感じておられたようです。「でも、シックハウス症候群やアレルギー性の疾患が怖いと思っていました」と奥様は言われます。「健康な家を探していたら、“無添加住宅”という文字を雑誌で見たんです。それで何だろう?と調べて、資料を請求したんですが…何の連絡もなかったんです(笑)と。そんな時、たまたま行ったことのある住宅会社の見学会でのこと。「木の家だったので期待して入ったんですが、急にめまいがして…」とショックを受けられたそうです。そこで思い出したのが、無添加住宅。開発者の秋田憲司氏の本を読み、木ばかりの家や土だけでは、いくら自然素材でも体には良くなく、大事な

自然素材の“バランス”で
ステキな家が出来ました!

のは、“そのバランス”ということが分かった!と仰ることで。早速、家づくりが始まり、「日本の昔の暮らしに現代の生活を取り入れたところが大好き!」と、とんとん拍子に進み、理想的な家が完成しました。外観は、まさに石と木と土(漆喰)がバランスよく配されたシンプルなもの。でもオリジナル性は抜群です。階段下の納戸が一番のお気に入り。限られた空間の有効活用「さすがプロ!」と絶賛の奥様。最後に「無添加住宅に出会った時に、家づくりは成功してたんですね」と言っていました。

T様邸



栗田工務店 ビフォー・アフター 安心・安全・快適リフォーム!
Before→After 改装工事完成!!



キッチンは、L型からI型に。お風呂は、0.75坪から1坪タイプに変更。ダイニングとリビングの間仕切りを撤去し、広々過ごせる間取りになりました。素材にこだわり、床は桜の無垢フローリングに自然塗料を使用。壁は紙クロスで仕上げました。ウッドデッキの広いテラスで、お孫さんたちと賑やかに楽しい時間を過ごしていただけることかと思います。

●お問合せは
株式会社 栗田工務店
0120-70-1516



むてんがニュース Letter
間違いだらけの日本の住宅!?

健康で安全な家を求めて!
「物が腐るってどういうこと?①」

近頃、すべての食品には消費期限や賞味期限などが表示されており、それが一日でも過ぎるとみんな捨ててしまっています。しかしあれは、私に言わせると、腐る前に早く捨てさせ、消費を増大させようとする“システム”といっても過言ではありません。本来、人間には視覚・聴覚・味覚・臭覚の五感が備わっています。そして人間は聴覚以外の四感を使って、腐ったものを自

分自身で判別して来ました。色などを目で見て、匂いを嗅いで、触ってみて、口に入れてみる。これで腐っているかいないかが分かるはず。ところが近頃の人々は、賞味期限、消費期限の表示だけを目安に捨てているので、四感が鈍ってしまっているのです。

そもそも“腐る”とはどういうことなのでしょうか?以前、言いましたが「菌=キノコ」なのです。食べ物にカビが生えたということは、前回までで、菌の大切さが少しでもわかって頂けたら嬉しいんですが、今月は菌を好きになってもらえたらと思います。

実は、菌は集団になると他の菌を寄せ付けキノコが生えたのと同じことです。そのキノコが毒キノコならお腹をこわすし、食べられるキノコなら身体によい。そこで前者を“腐敗”と言い、後者を“発酵”と呼んでいます。(本当はもっと複雑ですが…) ちょっと住宅の話から外れているみたいですが、菌と住まいととっても関係があるのです。それでは今回は、このへんで!